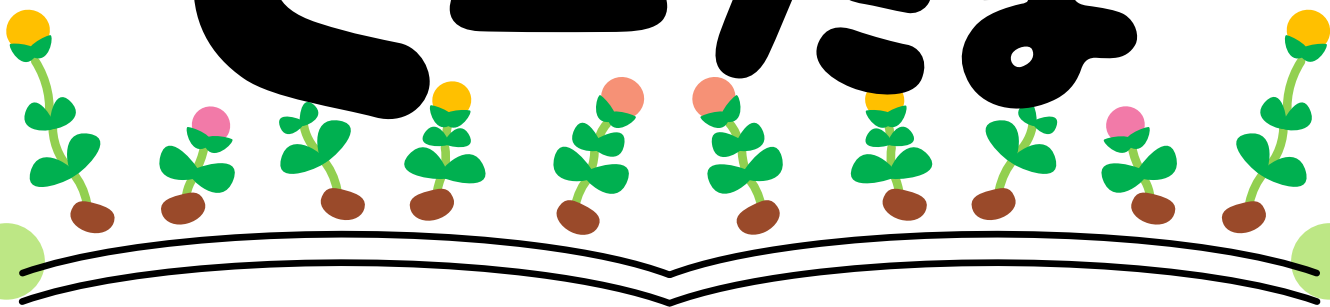


2025年版
小学5・6年生

2025年1月~12月に発行された本の中から
とくにおすすめの本をしょうかいします

ビーだまのようにキラリと光る一さつを

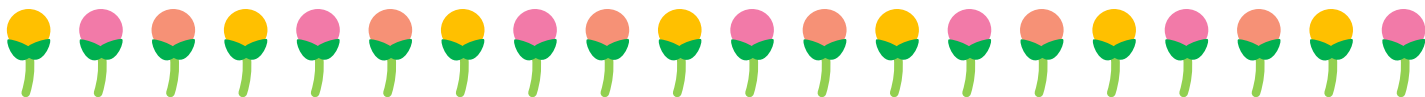
ビーだま



ブックリスト「小学5・6年生」2025年版 No.57

【編集・発行】

富山市立図書館 富山市西町5番1号/TEL 076-461-3200
令和8年4月23日発行(年1回発行)



カルディコット・プレイスの子どもたち

ノエル・ストレットフィールド／作 尾崎愛子／訳 偕成社



お父さんが事故で働けなくなってしまい、ジョンストン一家は、広い家から小さなアパートに引っこしました。飼いかい犬ともはなれることになった3きょうだいは、新しい生活を受け入れることができません。

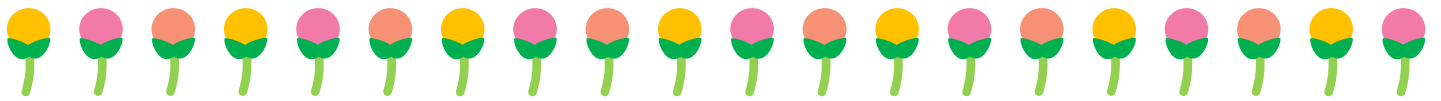
ある日、アパートに弁護士事務所から手紙がとどきます。そこには、事故の相手の老婦人が、古い大きな屋しきを未っ子のティムに相続させると書かれていました。

おれたちはギロンする

安田夏菜／作 静山社



議論^{ぎろん}とは、言い争いではなく意見を戦わせることです。陽太^{ようた}は、フリーマーケットで出会った同い年の芽衣^{めい}と議論することになり、すっかり言い負かされてしまいました。くやしいけれどカッコいいと思った陽太は、店番をする芽衣に会うためフリマに通います。「ねころんでいる親をまたいでもよいか」「子どもが髪^{かみ}をそめてもよいか」など、さまざまなテーマで意見をぶつけ合います。



ミシュカ

エドワルト・ファン・デ・フェンデル／作 アヌッシュ・エルマン／作
アネット・スカープ／絵 野坂悦子／訳 静山社

アフガニスタンからひなんしたロヤの一家は、何年もかけて難民^{なんみん}としてみとめられ、オランダに住む許可^{きよか}をもらいました。家を手に入れ、ウサギを家族にむかえます。

ロヤは、ウサギにミシュカと名づけ、長いひみつの旅のことを打ち明けるほどに心を開きます。ところが、ある日、大切なミシュカがにげ出してしまいました。



ランドリーの迷子^{まいご}たち

シャネル・ミラー／作・絵 ないとうふみこ／訳 ほるぷ出版

マグノリアの両親は、ランドリーの仕事で大いそがし。せっかくの夏休みなのに、旅行もできません。

マグノリアのたいくつな毎日を変えたのは、引っこしてきたアイリスでした。ふたりは<ニューヨークくつした探偵^{たんていだん}団>を結成します。ランドリーにわすれられたかたっぽだけのくつしたの持ち主をさがすため、もようを手がかりに、持ち主^{そうぞう}を想像することから始めます。



中受 12歳の交差点

工藤純子／著 講談社



学歴は武器になると考えている6年生の**新**は、**進学塾**に通い、**偏差値**の高い**修鷗中**を目指していました。ところが、小学校の三者面談をきっかけに、自分が本当にその学校へ行きたいのか分からなくなってしまう。

新と同じクラスの、勉強が苦手な**広翔**、進学してもバレーボールを続けたい**つむぎ**も、**中学受験**をするべきかなやんでいました。

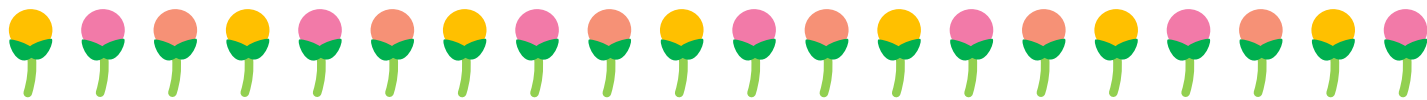


エイト！

嘉成晴香／作 早川世詩男／絵 あかね書房

他人からどう見られるかが気になり、学校に行けなくなってしまった**永都**。5年生になったある日、エジプトで3か月間仕事をする母に付きそうことになりました。

夜10時なのにサッカーにさそわれたり、知らない人の結こん式によぼれたり。エジプトで日本の「ふつう」とはちがう**経験**をするうちに、永都は少しずつ、人の目を気にせずやりたいことができるようになります。



ゾウがやってきた

ホリー・ゴールドバーグ・スローン／作 三辺律子／訳 小学館

シラは、トルコ国せきの両親とアメリカに住んでいます。9月のある日、入国管理の問題があるからと、お母さんだけがトルコに帰ることになりました。家にお母さんがいない毎日は、シラが生きてきた中でいちばんつらい時間でした。

悲しむシラの心の支えになったのは、**ジオ**という男性と、**ヴェーダ**という1頭のゾウでした。



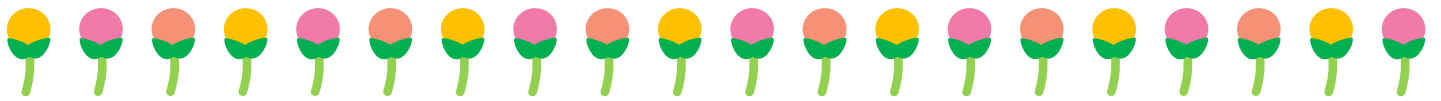
金色の切手とオードリーの秘密^{ひみつ}

オンジャリ Q.ラウフ／作 久保陽子／訳 静山社



9歳^{さい}のオードリーは、ふたごの弟と妹、病気で働けなくなったお母さんとくらしていました。

オードリーは、向かいの家に見覚えのない車がとまっていることに気づきます。だれか引っこしてきたのだと思いますが、すがたが見えません。「スパイがひそんでいるのでは……」と思っていたある日、オードリーの家族を見張^はっているかのような^{そうがんきょう}双眼鏡の光が見えました。



ポジション！

高田由紀子／作 岩崎書店

芽吹^{めぶき}は6年生で、身長168センチ。スポーツは苦手ですが、クラスの人気者・百田^{ももた}にさそわれたのがうれしくて、3か月前にミニバスを始めました。

芽吹は休まず練習に参加しますが、試合では失敗ばかり。自主練をしようと公園に行くと、かつて兄のように慕^{した}っていたルイと4年ぶりに^{さいかい}再会します。ルイは、車いすバスケのチームで活やくしていました。



まぼろしの動物ニホンオオカミ 小学生、なぞのはくせいの正体を追う

たけたにちほみ／文 川田伸一郎／監修 坂口友佳子／イラスト Gakken



絶めつ動物が大好きな^{ひなこ}白菜子さんは、研究しせつの標本を見学できるイベントに参加しました。そこで見つけたのは、イヌのようなはくせい。もしかするとニホンオオカミではないかと思い、職員にたずねますが、「ヤマイヌの一種」としか分かっていないようです。

このはくせいのことをもっと知りたいと思った白菜子さんは、図書館やインターネットで調査を始めます。